

令和5年度 事後評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	山田池公園整備事業
担当部署	都市整備部 公園課 公園整備グループ（連絡先内線 2982）
事業箇所	枚方市山田池公園他
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】</p> <p>山田池公園は、山に親しむ公園として位置付けられ、北河内地域の中心的な風致公園として整備を進めている。北地区は山田池を中心に池周辺丘陵地の樹林や竹林などのできるかぎり保全して花菖蒲園やあじさい園などの見所を整備し、南地区は広大な芝生広場とせせらぎ水路を中心とする開放的なゾーンとして整備する。また、都市周辺の環境を保全する重要な水と緑のオープンスペースとして整備を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>都市計画決定面積 75.8ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成工約 65ha ・施設整備工管理事務所・休憩所・便所等 ・植栽工約 52ha <p>【主要施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田池・水生花園・花木園・展望広場・もみじ谷・芝生広場 ・川原広場・実りの里他
関連事業とその現状	—
社会経済情勢の変化	—
事業実施による自然環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・北地区は、山田池を中心に池周辺丘陵地の樹林や竹林などのできるかぎり保全した整備がなされた。 ・南地区は田畑であったが、広大な芝生広場、棚田や果樹園、川辺の親水空間などが整備され、多様な自然環境が創出された。 ・樹林地や水辺などの自然を良好に管理するとともに、ボランティアと連携したホタルを増やす活動が行われるなど、自然環境のより一層の向上がはかられている。
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—

2 事業効果の分析等

	最終評価時点 H25	事後評価時点 R5	変動要因の分析
事業費	約 505.5 億円 (国: 252.8 億円、府: 252.7 億円)	約 491.2 億円 (国: 245.6 億円、府: 245.6 億円)	
経過 ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 47年 ② 昭和46年度 ③ 昭和47年度 ④ 平成30年度	① 47年 ② 昭和46年度 ③ 昭和47年度 ④ 平成30年度	
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接利用価値 ・間接利用価値 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/C= 1.80 ・B=230,735 ・C=128,406 <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省「大規模公園費用対効果分析手法マニュアル(平成19年6月)」の手法により算出。 <p>便益は、健康・レクリエーション空間の提供など公園の直接的な利用価値と都市防災、都市環境の維持・改善など公園の間接的な利用価値を便益として計上。</p> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者、周辺住民 	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接利用価値 ・間接利用価値 <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/C= 1.19 ・B=201,940 ・C=169,668 <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省「大規模公園費用対効果分析手法マニュアル(平成29年4月)」の手法により算出。 <p>便益は、健康・レクリエーション空間の提供など公園の直接的な利用価値と都市防災、都市環境の維持・改善など公園の間接的な利用価値を便益として計上。</p> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者、周辺住民 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省「大規模公園費用対効果分析手法マニュアルの改訂による」 <p>※平成29年4月 便益計測対象期間の変更</p>
事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市環境維持・改善、都市景観の保全提供、都市防災機能の確保 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者、周辺住民 	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市環境維持・改善、都市景観の保全提供、都市防災機能の確保 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者、周辺住民 	特になし
その他特記事項	—		

3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

<p>評価結果 (事業効果の発現 状況等)</p>	<p>・ R6. 3末現在 開設面積：73.7ha 年間来園者数：約133人 (R4) 満足度調査：「満足している人」が9割以上</p> <p>本公園は、体験や学習を通じて様々な自然環境と触れ合える公園として整備され、毎年来園者数は着実に増加している。また、花壇管理、竹林管理、生態系保全、イベント開催等ボランティア活動も盛んに行われるなど、府民と連携した運営管理が形成されており、都市周辺の水と緑のオープンスペースとして重要な役割を果たしている。</p>
<p>今後の同種事業に 対する改善措置等</p>	<p>—</p>